

# 女川原子力発電所における防潮堤について

## 防潮堤の概要

目的：敷地への浸水防止

構造：セメント改良土※<sup>1</sup>による堤防

高さ：約3m (O.P.※<sup>2</sup> 約+17m)

長さ：約600m

## [参考]

### 防潮壁の概要

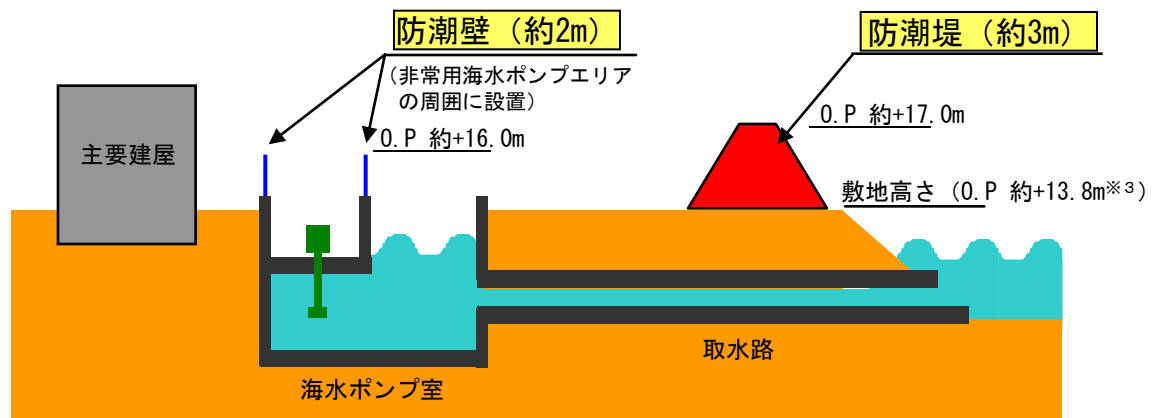
設置個所：非常用海水ポンプエリアの周囲

目的：非常用海水ポンプエリアへの浸水防止

構造：鋼製枠＋防潮板（ポリカーボネイト製）

高さ：約2m (O.P.※<sup>2</sup> 約+16m)

- ※<sup>1</sup> 土にセメントを加えて強度を高めたもの
- ※<sup>2</sup> O.P.とは、女川の工事用基準面で、  
O.P. ±0.0mは東京湾平均海面 (T.P.) -0.74mに相当
- ※<sup>3</sup> 女川周辺の地盤沈下量 (約1m) を考慮



イメージ図



# 防潮堤・防潮壁



防潮堤  
(高さ約3m)

防潮堤



1号機海水ポンプ室 防潮壁



2号機海水ポンプ室 防潮壁

